

# 報 雜

553.574/.613: 550.8 (521.72): 622.1

## 滋賀県大原珪石及び神山長石鉍床調査概報

### (1) 大原珪石

大原珪石は昭和22年6月から共立窯業株式会社がトロミル用内張石及び球石として加工に着手したものである。この鉍床は滋賀県甲賀郡大原村の高畑山にある。この附近の地形は急峻である。この附近の地質は古生層と黒雲母花崗岩からなる。珪石は古生層の中にあり、角岩が再結晶したもので、堅硬で亀裂は少く石英の1mm以下の細い結晶からなり不純物は少く均質である。従つてトロミル用内張石及び球石として使用することが可能である。

しかし純粋度に於て朝鮮遮湖産の球石より劣つてゐる。珪石の埋藏量は採石場附近のものについて推定13万8千トン、予想16万8千トンあり可採率は90%内外で推定可採量は9万4千トンで、製品として加工し得る推定量は3万5千トンである。

輸送は山元から約400m木馬によつて林道へ下し、牛車又は馬車によつて大原市場駅へ送る。

山元から林道迄の間に索道を架設し、又林道の一部大原村上1組を拡張すればトラックによる運搬が可能である。

本鉍山は、現在は採石場で、珪石の転石を加工しており、次第に露天掘にうつる計画で、この附近から将来は製品として月産250トンは可能である。

なおこの古生層中(白石谷奥)及び油日村油日嶽西北中腹にもこれと同様な珪石鉍床があり、調査地の東方の

延長部と共に今後調査をする必要がある。

### (2) 神山長石

神山長石は大正11年11月から採掘されているものである。

この鉍床は滋賀県甲賀郡信楽町神山にあり、信楽駅から東南約5kmで現場に達する。この附近の地形は花崗岩及び半花崗岩の分布する地域は比較的急峻であり、第4系の分布する地域は平坦であり、この平地には道路がよく発達し、運搬は便利である。この附近の地質は黒雲母花崗岩と、これを貫く半花崗岩及び第4系である。

鉍床は岩脈として貫入した半花崗岩の一部で露天化作用のために酸化鉄によつて汚染されたところは鉍床としての価値がない。

鉍石は珪酸分が多く、多少水酸化鉄の沈澱によつて汚染されたものを混入するが、これは手選によつて除去する。

粗鉍と精鉍の比率は平均2:1である。

この鉍石は陶磁器の素地に混入して使用されている。

鉍石の埋藏量は推定77,400トンである。

可採率は90%、推定可採鉍量は69,700トンである。

本鉍山の切羽面は極めて広く、需要に応じて月産600トン程度の出鉍は労務者の増加によつて可能である。なおこの附近には信楽駅東南方その他に同様の鉍床があり、これらの鉍床に対しても精査する必要がある。

(河合正虎・矢崎清貫・土屋近造)